

山口大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

当院では、以下の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、以下の問合せ先にご連絡下さい。

① 研究課題名	下部進行直腸癌に対する腹腔鏡下手術の意義		
② 実施予定期間	平成 22 年 1 月～平成 28 年 12 月		
③ 対象患者	平成 22 年 1 月から平成 23 年 12 月の間に手術を受けた、腫瘍が下部直腸(Rb)にかかる cStage II/III(大腸癌取扱い規約第 7 版)直腸癌の症例の方を対象とします。		
④ 対象期間	平成 22 年 1 月～平成 26 年 7 月		
⑤ 実施診療科	山口大学医学部附属病院第二外科（消化器・腫瘍外科）		
⑥ 研究責任者	氏名	碓 彰一	所属 消化器・腫瘍外科
⑦ 使用する資料等	診療情報（身長、体重、合併症、既往歴、現病歴、前治療、当科での治療歴、治療成績など）		
⑧ 研究の意義	本邦における下部進行直腸癌の外科治療における、腹腔鏡下手術の意義を調べることを目的とします。		
⑨ 研究の目的	現在までに行われている、cStage II/III(大腸癌取扱い規約第 7 版)下部直腸癌に対する腹腔鏡下手術と開腹手術の短期成績と予後を比較することにより、本邦での cStage II/III 下部直腸癌の外科治療における、腹腔鏡下手術の意義を調査します。		
⑩ 研究の方法	平成 22 年～平成 23 年に各施設で手術を受けた患者さんについてカルテより情報を抽出し、京都大学で集計・解析をします。		
⑪ 倫理審査	倫理審査委員会承認日	2016 年 3 月 23 日	
⑫ 結果の公表	関連学会等で発表予定です。		
⑬ 個人情報 の保護	本試験の登録には、性別、年齢などの登録症例の同定に可能な最低限の個人情報をを用いることとし、患者氏名などを用いることはありません。 本研究では個人を特定できる情報は任意の識別番号を用いて、データや標本を使用しますのでプライバシーは守られます。		
⑭ 知的財産権	研究グループに帰属します。		
⑮ 研究の資金源	内視鏡医学研究振興財団と日本癌治療学会の助成金を用いて実施します。		
⑯ 主研究機関名	京都大学消化管外科		
⑰ 利益相反	ありません。		
⑱ 問い合わせ先	山口大学大学院 消化器・腫瘍外科 碓 彰一		
	電話	0836-22-2264	FAX 0836-22-2263